



# 半期ディスクロージャー

## ごあいさつ

平素より、私どもJA岡山をご利用、お引き立ていただき厚くお礼申し上げます。  
さて、このたび以下の項目について、半期(9月末)ディスクロージャーを作成いたしましたので、皆さまの当JAに対するご理解を深めていただければ幸いです。  
今後とも、皆さまに信頼される協同組合として努力してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年11月  
岡山市農業協同組合

### 1. 金融再生法開示債権(単体)

(単位:百万円)

債権区分	令和3年3月末	令和3年9月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	195	219	24
危険債権	300	298	△2
要管理債権	—	—	—
小計(A)	494	517	23
正常債権	165,530	169,208	3,679
合計(B)	166,024	169,725	3,701
対象債権に占める比率(A/B)	0.30%	0.30%	0.00%

- (注) 1. 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」  
破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。
2. 「危険債権」  
債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
3. 「要管理債権」  
要注意先に対する債権のうち「3カ月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」をいいます。
4. 「正常債権」  
債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、要管理債権、危険債権、破産更生債権およびこれらに準ずる債権以外のものに区分される債権をいいます。
5. 金融再生法債権のうち、要管理債権は貸出金、その他の債権は信用事業与信額(貸出金、貸付有価証券、外国為替、債務保証見返、信用未収利息、信用仮払金)を開示の対象債権としています。

### 2. 単体自己資本比率(国内基準適用)

令和3年3月末	令和3年9月末(見込み)
13.04%	13.18%程度

(注) 平成19年3月末より、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年金融庁・農林水産省告示第2号)の規定に基づいて自己資本比率を算定しています。

### 3. 主要勘定の状況

(単位:百万円)

	令和2年9月末	令和3年3月末	令和3年9月末	比較	
				令和2年9月比	令和3年3月比
貯金	552,212	542,944	571,784	19,572	28,840
貸出金	163,125	165,938	169,642	6,517	3,704
預け金	351,600	338,588	364,314	12,714	25,727
有価証券	33,937	32,988	36,019	2,082	3,031

### 4. 有価証券等時価情報

[満期保有目的の債券]

(単位:百万円)

種類	令和3年3月末			令和3年9月末			
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額	
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	100	103	3	100	102	2
	地方債	—	—	—	—	—	—
	政府保証債	—	—	—	—	—	—
	金融債	—	—	—	—	—	—
	社債	100	103	3	100	103	3
	その他の証券	—	—	—	—	—	—
小計	200	206	6	200	204	5	
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	政府保証債	—	—	—	—	—	—
	金融債	—	—	—	—	—	—
	社債	—	—	—	500	500	—
	その他の証券	—	—	—	—	—	—
小計	—	—	—	—	—	—	
合計	200	206	6	700	704	5	

[その他の有価証券]

(単位:百万円)

種類	令和3年3月末			令和3年9月末			
	貸借対照表計上額	取得原価又は償却原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価又は償却原価	差額	
貸借対照表計上額が取得原価又は償却原価を超えるもの	株式	1,274	1,064	210	1,256	1,016	240
	債券	—	—	—	—	—	—
	国債	—	—	—	399	396	3
	地方債	3,026	2,999	27	3,036	2,999	37
	政府保証債	—	—	—	—	—	—
	金融債	—	—	—	—	—	—
	社債	10,846	10,698	147	14,544	14,297	247
受益証券	2,006	1,863	143	2,910	2,693	217	
小計	17,152	16,625	527	22,145	21,401	745	
貸借対照表計上額が取得原価又は償却原価を超えないもの	株式	173	178	△5	320	347	△28
	債券	—	—	—	—	—	—
	国債	4,290	4,386	△96	4,338	4,389	△52
	地方債	293	300	△7	296	300	△4
	政府保証債	—	—	—	—	—	—
	金融債	—	—	—	—	—	—
	社債	8,010	8,198	△187	5,898	5,999	△101
受益証券	2,870	3,132	△262	2,323	2,600	△277	
小計	15,637	16,194	△557	13,174	13,635	△461	
合計	32,788	32,818	△30	35,319	35,036	283	

[金銭の信託]

(単位:百万円)

	令和3年3月末					令和3年9月末				
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	うち貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	うち貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの
その他の金銭の信託	1,000	1,000	0	0	—	1,011	1,000	11	11	—

- (注) 1. 9月末の有価証券等の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。  
2. 「うち貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの」「うち貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの」は、それぞれ「差額」の内訳です。

記載金額の端数処理について

金融再生法開示債権、主要勘定の状況、有価証券等時価情報等の記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております。そのため、内訳金額を合計した金額が合計欄記載の金額と一致しない場合があります。なお、金額が50万円未満の科目等については「0」、残高が無い場合は「-」で表示しています。

5. 農業振興活動

農業関係の持続的な取り組み	
(1) 「営農振興計画」に基づいた営農指導体制の充実と意欲ある担い手経営体の確保・育成による農畜産物の生産振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「営農振興計画」に基づき営農指導機能の強化・充実を図るとともに、「営農振興支援事業」を活用し、農畜産物の生産振興、意欲ある担い手経営体の育成・支援による産地の維持・発展に取り組んでいます。</li> <li>○TAC指導員体制を構築し、TACリーダー会議を通じて本所・営農センター間の営農活動に係る情報共有と連携を図るとともに、「担い手農家」等への訪問活動の強化による営農指導活動を展開しています。</li> <li>○米の主要品種である「アケボノ」、「ヒノヒカリ」等について、低コスト生産の確立に向けて肥料試験に取り組んでいます。また、スマート農業技術の確立に向けて、ドローンによる水稻の葉色診断と追肥による増収効果の実証試験に取り組んでいます。</li> <li>○麦については、土壌診断を実施し、適正な土づくり指導による高品質な生産と大麦新品種の導入に向けた採種圃の設置や肥料試験に取り組んでいます。</li> <li>○「営農振興支援事業」の活用により、野菜の作付拡大や果樹の新改植を推進しています。また、重量野菜の生産規模の維持・拡大を目的として、収穫支援隊による農作業支援に取り組んでいます。</li> <li>○「1日農業バイト」のアプリを導入し、大型農家等の労働力の確保による農作業支援を行うとともに、農業の魅力発信を行っています。</li> </ul>
(2) 担い手経営体の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意欲ある担い手の確保を目的として、「就農トータルサポート事業」等、行政と連携した各種事業に取り組んでいます。</li> <li>○新規栽培者の掘り起こしと産地の活性化を目的として、もも・ぶどうの農業塾をはじめとする各種講習会を開催し、農業生産基盤の底辺拡大に取り組んでいます。</li> </ul>
(3) 農業関連資材の有利供給	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業関連資材の価格が上昇する中で主力品目を中心に、価格の抑制に努め予約購買を基軸とした有利安定供給に取り組んでいます。</li> <li>○肥料については、品目集約に取り組み安価で高品質なプライベート肥料の提案を行っています。</li> <li>○農薬では、大型規格農薬や省力型商品の提案を行っています。</li> </ul>
(4) 安全・安心な農産物の安定供給体制の確立と販売促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生産から販売までをキーワードに多様化する実需者ニーズへの対応と安全・安心な農産物の安定供給体制の確立を基本とし、農家所得の向上に取り組んでいます。</li> <li>○米では実需者との結び付きの強化と新規販売先の開拓による直接販売に取り組んでいます。また、JA岡山オリジナル精米の直売所やインターネット、イベント等での販売に取り組んでいます。</li> <li>○野菜では重点取引市場へ産地情報を発信し、㊤ブランドの認知度向上による有利販売に取り組んでいます。</li> <li>○果実では「清水白桃」、「ピオーネ」、「シャインマスカット」、「オーロラブラック」について、首都圏市場での取引拡大に努めています。また、清水白桃・みかん・レモンなどの一次加工を行い、菓子メーカー等への供給と商品化により、農産物の付加価値向上に取り組んでいます。</li> <li>○花卉では、関係機関と連携し、花育活動などを通じて管内花卉のPR活動に取り組んでいます。</li> <li>○農産物直売所では、堅調な販売傾向にある生鮮品の出荷会員向けの情報発信と委託輸送の拡充による豊富な品揃えや、大型量販店への産直コーナーの設置など新たな販路確立に取り組んでいます。また、栽培管理日誌の記帳確認や残留農薬自主検査など安全・安心な農産物出荷体制の充実を図るとともに、インターネット販売の充実・強化、直売所間交流を図るなど、消費者ニーズに応える魅力ある店舗づくりに取り組んでいます。</li> </ul>
地域密着型金融への取り組み（中小企業等の経営の改善および地域の活性化のための取り組みの状況を含む）	
(1) 農業者等の経営支援に関する取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県域農業金融センターと連携し、新規就農者等に対し確実な訪問活動を実施</li> <li>○農業者等のニーズを捉え、金融を中心とする各種サービスの提供を実施</li> </ul>
(2) 農業者等の経営支援に関する態勢整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○信用部門と営農部門との連携による農業者等への経営支援態勢整備の強化</li> <li>○多様化する農業者の金融ニーズに応えるため農業融資担当者の知識向上のための研修会の実施</li> <li>○「JAバンク農業金融プランナー」有資格者数 36名</li> </ul>

(3) 農業者等への支援対応力強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業者宅への訪問頻度の向上</li> <li>○農業金融に関する情報提供</li> <li>○農業者の営農計画を踏まえた資金ニーズの的確な把握</li> <li>○JAバンク利子助成の効果的な活用</li> <li>○農業資金残高 1,796百万円 融資実績数：597件</li> </ul>
(4) 農業者等のニーズに対応できる農業融資担当者の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本所2名、支所80名配置</li> </ul>

6. 地域貢献情報

全般に関する事項	
協同組織の特性	<p>当JAは、岡山市（東区瀬戸町を除く）、玉野市、瀬戸内市および加賀郡吉備中央町の加茂川地区を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。</p> <p>当JAの資金は、その大半が組合員・利用者の皆さまからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としています。当JAでは資金を必要とする組合員・利用者の皆さまや、地方公共団体などにもご利用いただいています。</p> <p>当JAは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、「地域によるこびの種をまく」を経営理念として掲げて事業活動を展開しています。</p> <p>また、JAの総合事業を通じて各種金融機能、サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組織として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。</p>
組合員数・出資金	組合員数 正：26,680 准：26,981 出資金 10,151百万円
1. 地域からの資金調達状況	
(1) 貯金残高	571,784百万円
(2) 貯金商品	当JAの特徴的商品として、年金優遇定期・年金優遇福祉型定期・退職金専用金利優遇型定期の提供
2. 地域への資金供給状況	
(1) 貸出金残高	169,642百万円
(2) 制度融資取扱状況	農業近代化資金・農業経営改善促進資金（スーパーS）・就農支援資金等
(3) 融資商品	当JAの主力商品として、JA住宅ローン・JAトータルプラン・JA賃貸住宅ローン・JAマイカーローン・営農ローンの提供
3. 農業振興活動・文化的・社会的貢献に関する事項（地域とのつながり）	
(1) 農業振興活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食農教育の取り組み</li> <li>○担い手・新規就農者の育成・支援</li> <li>○経営の複合化・法人化への支援・協力</li> </ul>
(2) 文化的・社会的貢献に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食への地元農産物の提供支援</li> <li>○地域行事への参加</li> <li>○高齢者福祉活動への取り組み</li> <li>○税務相談会の開催</li> <li>○各種募金活動の窓口協力</li> <li>○図画・作文・書道コンクール等の開催</li> </ul>
(3) 情報提供活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○JA広報誌「ばれっと」</li> <li>○コミュニティ誌「あぐろぐOKAYAMA」の発行</li> <li>○ホームページを通じた組合員・利用者の皆さまへの情報提供</li> </ul>
(4) 店舗体制	本所 1、支所 39、ローンセンター 1、不動産開発課 1、営農センター 7、資材店 7、農産物直売所 8